

## 二〇二二年度 総合学力評価テスト 読解表現総合

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

1. 問題冊子は監督者かんとくしゃの指示があるまでは開いてはいけません。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。問題冊子は受験番号のみを記入してください。
3. 試験問題の内容に関する質問には答えられません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
5. 解答用紙は持ち帰らないでください。
6. 漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

受験番号

次の文章を読んであとの問いに答えましょう。

(文章1)

「あこがれ続けた、あのデイズニーで仕事ができる——」

5回目の挑戦でやっと採用された、その喜びが「夜の清掃部隊（ナイトカスターディアル）のトレーナー兼スーパーバイザー」への配属という現実の前に萎んでいくのを感じていたのです。それは、一緒に配属になった仲間たちも同じでした。

私たちに渡されたのは、歓声に包まれた昼間の華やかな夢の世界へのパスポートではなく、ゲストはもちろんミッキーもミニーもない沈黙の世界へのパスポート。

静まり返った深夜のパークを、黙々と掃除して回る。そう考えると、どうしても心から喜べない、清掃という仕事への抵抗感があったのです。加えて、それまでの私のキャリアは清掃の世界とはまったく縁がない、ど素人。仲間の中には、昼夜逆転の生活への不安を感じる人もいました。

これは、何かを試されているのだろうか……。

① 誰もが消化しきれない気持ちで、とまどっていました。

そこに現れたのが、本家アメリカのデイズニーからやってきた初老の『そうじの神様』でした。数日後、彼は、私たちが仮設事務所のトイレに集合させました。遠巻きに彼を見つめる私たち。なにしろ、その場所は、誰もが足早に通り過ぎたくなるほど泥や汚れにまみれたトイレだったのです。

彼は、おもむろにゴム手袋をはめると、その魔境ともいえるトイレに向かっ ていきました。誰もが後ずさりして、顔を見合わせます。と、次の瞬間、彼はまるで我が子を抱きかかえるように便器を勢よく磨き始めたのです。聞こえてくるのは、彼の息づかいとタワシがリズムカルに擦れあう音。長い年月をかけて生成された岩石のように、頑なに汚れがこびりついた床の側溝、変色した便器の縁。それが、彼の手によって、命を与えられたかのように輝きを取り戻していきます。

「これは、なんだ!？」と、私は思いました。自分が見ているのは、今まで思っていたようなそうじとは違う。なにか、別の次元のものを見ているようでした。彼のそうじに目が釘付けになり、彼と同じように自分も手を動かしたくて仕方ない。そんな気持ちにさせられたのです。仲間の社員も、気が付けば身を乗り出さんばかりになっていました。

そして、すっかり、すべてのトイレがまばゆい輝きを取り戻したとき、彼は私たちに振り向き、初めてにつこりと微笑みました。その笑顔の向こう側で、

あのデイズニー創始者ウォルト・デイズニーも一緒に微笑んでいるように見えました。

そのとき感じた、なんともいえない爽快な気持ち。彼の清掃は、トイレの汚れだけではなく、私たちが持っていた、清掃という仕事に対する抵抗感や劣等感のようなもので洗い流してくれたのです。

(鎌田洋『デイズニー そうじの神様が教えてくれたこと』(ソフトバンククリエイティブ)より)

\*1 スーパーバイザー…職場の管理者。

\*2 魔境…悪魔が住むところ。恐ろしいところ。

## (文章2)

E君は、のんびりしたところで、のんびりと学生生活を送りたかった。本当のところ映画監督になりたかった。しかし、それでは生活はできないだろうと踏んだ。とりあえず、偏差値の一番低い福祉系の大学に入学する。大学時代も、勉強らしい勉強もしなかった。

そんなE君だったから、大学を出るまでは、映画づくりの夢を漠然と抱いたまま、全く将来の自分の仕事というものに向き合って考えたこともなかった。いうならば、行き当たりばったりでも、どうにかなるのでは、という感じである。

卒業後、福祉施設の就職試験では、いったんはねられたが、予定者が辞退して補欠で入った。指導員としてだ。だから、当然のように軽んじられた。

もちろん仕事は、給料分は働いたかもしれない。しかし、仕事っぷりもとくに素晴らしいということでもないし、とりたてての能力があるようにも見えなかった。

そんなE君に転機が訪れる。勤めて三年が過ぎていた。きっかけは経理を担当していた人が辞めたことだ。世の中はちようどコンピュータ時代に入り、経理もコンピュータ管理に移ろうとしている時に当たっていた。一九八〇年代後半、福祉関係のなかでパソコンを操って経理を行うことができる人はほとんどいなかったといっている。

前任の経理担当者はいわばその(②)で、よくいえばヘッドハンティングされて辞めたわけだ。とりあえず、パソコンに興味を持っていたE君が、その経理の仕事を引き継ぐことになった。そこでE君とパソコンとの本格的なあいごはじまる。

彼は、偶然与えられることとなった部署でパソコンでの仕事と出会うことで、自分のやりたいことを見つけてしまったのである。彼自身で見つけたの

ではない。しかし、ずぶの素人が経理を担当するなんて、たいていの人なら後込みするだろう。彼はしなかった。パソコンを使ってやる仕事が彼の性格にぴったりだったのだ。おそらく、経理の仕事でなくとも、同じだったろう。

なによりもおもしろいのは、パソコンとつきあつて経理からさらに進んで業務管理をやつてゆくと、次々と仕事がこなされていくことだ。施設全体の金と人、物の動きがよくわかる。当然、施設にはなくてはならない存在になる。それに、もつといいのは、彼は施設内だけの仕事に留まらず、パソコンシステムに関する技術も知識も自力でどんどん身につけていったことだ。

彼はいま、パソコンを駆使して、もうすこしスケールの大きい施設で、経営管理を行っている。着実に彼の世界がひろがっている。彼はパソコンが「考える機械」であるということを実感している。

しかし、私の見るところ、E君は単なる偶然、幸運で自分の仕事を見いだしたのではないのだ。経理を担当したからといって、給料が上がるわけでも、ポジションが上がるわけでもない。厄介で、しかも膨大な仕事待ちを受けている。しかもパソコン技術も経理能力も自力・自費で修得しなければならない。だれもがやりたくない仕事と思うことを引き受けて、それに耐え、ようやくのこと、自分のやりたい仕事を見いだしたからだ。

(鷺田小彌太『やりたいこと』がわからない人たちへ 人生にとって「仕事」とは何か?) (PHP文庫) より)

\* 3 ヘッドハンティング：他社の有能な人材を、よい条件で引き抜くこと。

(1) (文章1) の——部①「消化しきれない気持ち」とあるが、この部分の具体的な内容としてあてはまらないものを次の中から一つ選び、番号で答えよう。

- 1 昼間の華やかなデイズニerlandではなく、夜間の勤務になったことにごっかりしていたこと。
- 2 ミッキーにもミニーにも会えないことで、デイズニerlandに就職した意味を見失っていたこと。
- 3 清掃という仕事ほかの仕事に比べておとっているイメージが強く、抵抗感を感じていたこと。
- 4 今までの仕事や経験を通して清掃と全く縁がなく、ど素人であることに不安を抱いていたこと。

(2) (文章2)の空欄(②)には「最初におこない、発展の基礎を築いたこと(人)」という意味の言葉が入ります。適したものを次の中から一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 型破り
- 2 駆け出し
- 3 夜明け
- 4 草分け

(3) (文章2)の――部③「E君は単なる偶然、幸運で自分の仕事を見いだしたのではないのだ」とあるが、これはどのようなことをさしていますか。最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えましょう。

- 1 映画監督になることをあきらめて福祉系の大学に入学したこと。
- 2 就職試験でいったんはねられたが、予定者が辞退して補欠で入ったこと。
- 3 パソコンシステムに関する技術も知識も自力で身につけていったこと。
- 4 施設で経理を担当していた人がヘッドハンティングで辞めたこと。

(4) (文章1)にあるように抵抗感や劣等感のある仕事、または(文章2)にあるように厄介でだれもがやりたがらない仕事についてあなたの経験と考えを三百字以上四百字以内で、次の《手順》と《きまり》にしたがって書きましょう。

《手順》

- 1 初めは抵抗感や劣等感があつたこと、また、厄介でだれもがやりたがらなかったことを自分でやった経験や、その時はやらなかったことについて、どのようなことがあつたかを具体的に書きましょう。
- 2 1のできごとの前と後で自分の考え方がどのように変わったかを書きましょう。
- 3 1のできごとが今の自分にどのような影響を与えているかを書きましょう。

《しまり》

- 1 題名は書きません。最初の行から書き始めます。
- 2 各段落の最初の字は一字下げで書きます。
- 3 段落を変えたときの残りのマス目は字数として数えます。
- 4 「、」や「。」やかっこなども一字に数えます。ただし、「。」と終わりのかっこは同じマスに書き、一字と数えます。
- 5 最後の段落の残りのマス目は字数として数えません。

